

伊豆諸島八丈島から採集された土壌性小型甲虫類

保科英人

〒 910-8507 福井県福井市文京 3-9-1 福井大学教育学部

Hideto HOSHINA

筆者は 2016 年 3 月 28 日～ 30 日まで東京都伊豆諸島八丈島で土壌性甲虫の採集調査を行った。本稿では捕獲した甲虫類のうち、筆者が同定できる分類群に属する種を記録しておきたい。

八丈島産甲虫類を記録した報告は少なからずある（大野, 1994; 上田ら, 1994; 川畑, 2006, 2007, 2009 など）。しかし、記録種を個々に見ていくと保育社「原色日本甲虫図鑑 I～IV」に頼った同定に基づく記録と思われるものもある。そこで、本稿では八丈島新記録種ではなくても、確実な同定による再記録種も含めることとした。

なお、本稿で取り扱った標本は全て筆者がツルグレン装置を用いて抽出したものである。

エンマムシ科

アリノスコブエンマムシ *Eucurtiopsis ohtanii* (K. Sawada, 1994)

1 ex., 東京都伊豆諸島八丈島末吉, 30. iii. 2016, 保科英人採集（以後、八丈島内の地名のみ記す。また採集者は全て筆者なのでそれも省略する）。

本種は八丈島からは既に Nishikawa & Fukuzawa (2010) によって記録されている。外見が珍奇なことで有名な本種だが、丸山ら (2013) によると数が少ないわけではないらしい。

ガムシ科

オオヤマトオカツヤガムシ *Armostus ohyamatensis* Hoshina & Satô, 2006

4♀, 唐滝, 29. iii. 2016.

3♀, 三原林道, 29. iii. 2016

7♀, ポットホール, 30. iii. 2016

7♀, 末吉, 30. iii. 2016

九州から関東まで分布する。本稿が確実な同定に基づく八丈島新記録。Hoshina & Satô (2006) で述べたように、本種はこれまでメスしか捕獲されておらず単為生殖種と思われる。

タマキノコムシ科

オチバヒメタマキノコムシ *Dermatohomoeus terrenus* (Hisamatsu, 1985)

3♀, 唐滝, 29. iii. 2016.

2♀, 三原林道, 29. iii. 2016.

3♀, ポットホール, 30. iii. 2016.

5♀, 末吉, 30. iii. 2016.

本種は本州から沖縄本島まで分布する普通種。八丈島からは既に川畑 (2007) が記録している。本種も前種同様、単為生殖していることはほぼ疑いが無い (Hoshina, 1999)。

ハネカクシ科

デオキノコムシ亜科

マメデオキノコムシ *Baocera curtula* Achard, 1923

1♀, 唐滝, 29. iii. 2016.

2♀, 三原林道, 29. iii. 2016.

2♂ 3♀, 末吉, 30. iii. 2016.

既に川畑 (2009) によって記録されている。川畑 (2009) によれば数は少なめということだが、3月の落ち葉ふるいでは比較的容易に採集できた。

コケムシ亜科

チウンムナビロコケムシ *Cephennodes mizunoi* Hoshina & Kishimoto, 2004

1♂, 三原林道, 29. iii. 2016.

1♂ 2♀, ポットホール, 30. iii. 2016.

本種は Hoshina & Kishimoto (2004) が小笠原諸島弟島と母島から記載した種で、原記載以降採集報告はなかった。本稿が八丈島初記録である。なお、学名および和名は小笠原諸島の日本領化に貢献した幕臣水野忠徳（痴雲）に由来する。

ルイスヒメコケムシ *Euconnus (Napochus) lewisii* Sharp, 1886

1♂, 三原林道, 29. iii. 2016.

本州から九州まで分布する、日本産コケムシ類では最普通種である（保科, 2003）。本稿が確実な同定に基づく八丈島初記録となる。余談ながら、各地の地方甲虫種目録でシリプトヒメコケムシ *Euconnus fustiger* として記録されているものの殆どは本種ルイスヒメコケムシと考えると差し支えない。

周知のとおり八丈島は火山の島で、それゆえに土壌性甲虫相は貧弱である。実際、3日間の調査で捕獲された土壌性甲虫類は、未ソーティングのゾウムシ科以外は質量ともに少なかった。また、本稿で記録した種のうち、小笠原諸島のファウナの要素を持つのはチウンムナビロコケムシだけで、それ以外は本州との共通種であった。

末筆ながら八丈島の採集地の情報をくださり、また既存文献を手配してくださった本学会庶務幹事の亀澤洋氏に厚く御礼申し上げる。

引用文献

- Hoshina, H., 1999. A taxonomic study of the genera *Dermatohomoeus* and *Colenis* (Coleoptera: Leiodidae) from Japan. *Entomological Science*, 2: 413–423.
- 保科英人, 2003. 日本産コケムシ科ヒメコケムシ属概説 (I). 甲虫ニュース, (143): 7–11.
- Hoshina, H. & T. Kishimoto, 2004. First record of the family Scydmaenidae (Coleoptera) from the Ogasawara Islands, Japan, with description of a new species. *Memoirs of the*

- Faculty of Education and Regional Studies, Fukui University, Series II (Natural Science), 56 (2): 1–7.
- Hoshina, H. & M. Satô, 2006. A taxonomic study of the genus *Armostus* (Coleoptera: Hydrophilidae) from Japan. *The Coleopterists Bulletin*, 60 (2): 95–104.
- 川畑喜照, 2006. 伊豆諸島八丈島の甲虫 I. 神奈川虫報, (154): 11–18.
- 川畑喜照, 2007. 伊豆諸島八丈島の甲虫 II. 神奈川虫報, (157): 27–31.
- 川畑喜照, 2009. 伊豆諸島八丈島の甲虫 III. 神奈川虫報, (165): 17–23.
- 丸山宗利・小松 貴・工藤誠也・島田 拓・木野村恭一, 2013. アリの巣の生きもの図鑑. 208 pp. 東海大学出版会.
- Nishikawa, M. & T. Fukuzawa, 2010. Discovery of *Eucurtiopsis ohtanii* (Coleoptera, Histeridae) on an Oceanic Island of Japan. *Elytra*, Tokyo, 38: 271–274.
- 大野正男, 1994. 昆虫類. pp. 263–308. 財団法人国立公園協会編. 八丈島自然公園内環境基礎調査報告書. 416 pp. 財団法人国立公園協会.
- 上田康之・高崎鉄也・露木繁雄・吉田篤人・渡 弘, 1994. 神奈川有志による八丈島甲虫採集報告. 神奈川虫報, (108): 1–14.

(2016年4月15日受領, 2016年9月4日受理)

【短報】茨城県におけるヨツボシカミキリの最近の採集例

ヨツボシカミキリ *Stenygrinum quadrinotatum* Bates, 1873 (カミキリムシ科) は、かつては低山地で広葉樹の伐採木や灯火によく集まる普通種であったが、全国的に急激に生息数を減じており、環境省 RDB (環境省, 2015) では、近い将来における絶滅の危険性が高いことから“絶滅危惧 IB 類 (EN)”に分類されている。

茨城県における本種の現状は、「茨城県のカミキリムシ II」(市川ほか, 2008) の中で“他県と同様、本県でも 1980 年代までは平地から低山帯に普通に見られたが、近年は激減しており、散発的な記録

のみである。”と記されている。茨城県内では、本種はこれまで東海村および総和町、常北町、水戸市、つくば市、土浦市、大子町、大宮町、茨城町から記録されているが、2000 年以降の記録は大宮町と茨城町からの 3 例のみである。

筆者の一人である吉武は、近年本種を茨城県内で採集する機会に恵まれたので、貴重な分布記録としてここに報告する。

1 頭, 茨城県石岡市下青柳, 24. VI. 2015, 吉武啓採集。

夜間に街灯下の植栽 (ドウダンツツジ) の葉上で静止していた個体である (図 1)。現地は夏に家族を連れて灯下でのクワガタ拾いによく訪れる場所であるが、これまで本個体以外に本種を見た経験はないことを付記しておく。

引用文献

- 市川和雄・公文 暁・公文保幸, 2008. 茨城県のカミキリムシ II, りりぼし, (37): 2–223.
- 環境省, 2015. レッドデータブック 2014 日本絶滅のおそれのある野生生物 5 昆虫類. 509 pp., ぎょうせい, 東京.

(吉武 啓 305-8604 つくば市観音台 3-1-3 国立研究開発法人農研機構・農業環境変動研究センター)
(高野 勉 301-0001 龍ヶ崎市久保台 2-10-5)



図1. 茨城県石岡市産ヨツボシカミキリ (中原直子撮影)。